

7. 受賞等

ここでは、気象研究所の職員が平成 28 年度に他機関から受けた表彰、及び取得した学位の一覧を掲載している。

受賞には、受賞者の氏名、賞の名称、表彰した機関名、表彰年月日を掲載している。

学位取得には、学位取得者の氏名、学位名、学位授与大学、取得年月日及び学位取得の対象となった論文名を掲載している。

7. 1. 受賞

足立光司	日本エアロゾル学会奨励賞、日本エアロゾル学会、平成 28 年 9 月 1 日
碓氷典久	日本海洋学会日高論文賞、日本海洋学会 平成 28 年 4 月 1 日
小寺祐貴	日本地震工学会優秀発表賞、(公社)日本地震工学会、平成 28 年 9 月 26 日
丹羽洋介	日本大気化学会奨励賞、日本大気化学会、平成 28 年 10 月 13 日
北村祐二	日本気象学会気象集誌論文賞、(公社)日本気象学会、平成 29 年 1 月 30 日
小山 亮	日本気象学会気象集誌論文賞、(公社)日本気象学会、平成 29 年 1 月 30 日
足立 透	日本気象学会 SOLA 論文賞、(公社)日本気象学会、平成 29 年 1 月 30 日
弘瀬冬樹	日本地震学会論文賞、(公社)日本地震学会、平成 29 年 3 月 22 日

7. 2. 学位取得

庭野匡思

学 位：博士（理学）（名古屋大学、平成 28 年 7 月 29 日）

学術論文：Development of the physical snowpack model SMAP: Application to seasonal snowpack in Japan and the Greenland ice sheet（積雪変質モデル SMAP の開発：日本の季節積雪とグリーンランド氷床への適用）

横田 祥

学 位：博士（理学）（東京大学、平成 29 年 3 月 2 日）

学術論文：A Study of Supercell Tornadogenesis Using Data Assimilation and High-resolution Ensemble Forecasts（データ同化と高解像度アンサンブル予報を用いたスーパーセル竜巻の発生に関する研究）

猪上華子

学 位：博士（理学）（名古屋大学、平成 29 年 3 月 27 日）

学術論文：冬季日本海沿岸における降水システムの強化過程および突風形成過程に関する観測的研究

8. 研究交流

ここでは、気象研究所の職員が平成 28 年度に外国出張等により出席・参加した海外で行われた国際会議・研究集会・講演、気象研究所が平成 28 年度に他機関から受け入れた研究者、及び海外研究機関からの来訪者の一覧を掲載している。

8.1. 外国出張等

- | | |
|-------|--|
| 青梨和正 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 8 回国際降水ワーキンググループ (IPWG) 及び第 5 回国際降雪衛星観測会議 (IWSSW) の合同ワークショップへの出席, イタリア, H28. 10. 1 ~ 9 ・ 降水観測計画 (PMM)サイエンスチーム会合への出席, アメリカ, H28. 10. 22~29 |
| 足立アホロ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H28. 4. 16~24 ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第 97 回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22~28 |
| 足立光司 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18 ・ 気候変動解明を目指したエアロゾル複合分析に必要な地上サンプリング (台湾・台北), 台湾, H29. 2. 23~3. 2 |
| 五十嵐康人 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーロッパエアロゾル会議年次大会 (EAC2016) 参加, フランス, H28. 9. 3~11 |
| 石井雅男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 北太平洋海洋科学機関 (PICES) 2016 年年次総会への出席, アメリカ, H28. 11. 2 ~ 6 ・ 国際海洋炭素観測調整計画科学推進グループ第 12 回会議、学際的・持続的な海洋観測実施のためのワークショップ及び全球海洋観測システム (GOOS) 執行委員会への出席, アメリカ, H29. 2. 5~13 |
| 石田春磨 | <ul style="list-style-type: none"> ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器設置 (ハワイ島), アメリカ, H28. 10. 12~21 ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器の撤収 (ハワイ島), アメリカ, H28. 11. 14~19 ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18 ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守 (中国), 中国, H29. 3. 13~21 |
| 石元裕史 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18 ・ 国際放射シンポジウム (IRS2016) への参加, ニュージーランド, H28. 4. 15~23 |
| 泉 敏治 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガス観測技術衛星 2 号 (GOSAT-2) データの高精度化に資するライダー装置の試験観測, フィリピン, H29. 1. 22~28 |
| 伊藤純至 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 32 回 アメリカ気象学会ハリケーンと熱帯気象に関する国際会議への参加, プエルトリコ, H28. 4. 17~24 ・ 第 22 回境界層と乱流に関するシンポジウムへの出席, アメリカ, H28. 6. 19~26 ・ 竜巻を起こすスーパーセルの特徴と環境場の日伊における比較研究のワークショ |

- ップへの参加, イタリア, H29. 3. 4~13
- 碓氷典久
- ・ 第 13 回アジア・大洋州地球科学学会 (AOGS) 年次会合への参加, 中国, H28. 7. 31~8. 6
- 遠藤洋和
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18
- 大島 長
- ・ ヨーロッパエアロゾル会議年次大会 (EAC2016) 参加、フランス放射線防護・原子力安全研究所 (IRSN) 研究会合出席等, フランス, H28. 8. 30~9. 11
- 太田芳文
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18
 - ・ 国際放射シンポジウム (IRS2016) への参加, ニュージーランド, H28. 4. 15~22
- 大塚道子
- ・ 第 13 回国際風ワークショップへの出席, アメリカ, H28. 6. 26~7. 3
- 岡田 純
- ・ 第 9 回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 9) への参加, チリ, H28. 11. 19~28
- 岡本幸三
- ・ 第 8 回国際降水ワーキンググループ (IPWG) 及び第 5 回国際降雪衛星観測会議 (IWSSW) の合同ワークショップへの出席, イタリア, H28. 10. 1~9
 - ・ 第 5 回国際データ同化シンポジウム (ISDA) への参加, イギリス, H28. 7. 17~24
 - ・ 第 13 回アジア・大洋州地球科学学会 (AOGS) 年次会合への参加, 中国, H28. 7. 31~8. 6
 - ・ 衛星搭載ライダー風会合に関する作業部会への出席, アメリカ, H29. 3. 20~25
- 小木曾仁
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18
- 尾瀬智昭
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~17
- 小山亮
- ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第 21 回衛星気象学・海洋学・気候学に関する会合及び第 20 回大気海洋相互作用に関する会合への出席, アメリカ合衆国, H28. 8. 14~21
- 折笠成宏
- ・ ルレオ工科大学との巻雲観測に関する研究協力打ち合わせ及び同大学大気科学グループ招聘セミナー発表, スウェーデン王国, H28. 5. 30~6. 4
 - ・ 第 17 回国際雲・降水会議への参加, イギリス, H28. 7. 24~31
 - ・ 第一回アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAEREP) 国際ワークショップへの参加及び UAEREP に係るシーディング有効雲観測のための地上リモセン機器設置, アラブ首長国連邦, H29. 1. 17~26
- 梶野瑞王
- ・ 第 19 回日中韓越境大気汚染プロジェクト (LTP) 大気質モデリング・サブ作業部会会合への出席, 韓国, H28. 11. 15~18
 - ・ 北京の大気汚染と乱流の相互作用に関する研究打合せへの参加, 中国, H28. 11. 21~26
 - ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H28. 4. 18~24
 - ・ 第 13 回アジア・大洋州地球科学学会 (AOGS2016) 年次会合への参加, 中国, H28. 7. 31~8. 6
 - ・ ヨーロッパエアロゾル会議年次大会 (EAC2016) 参加、フランス放射線防護・原子

- 力安全研究所 (IRSN) 研究会合出席等, フランス, H28. 8. 28~9. 10
- 加藤輝之
- ・ 第11回メソ対流系と顕著気象に関する国際会議(ICMCS-XI)への出席, 韓国, H28. 4. 24~29
- 川合秀明
- ・ 「雲フィードバックモデル相互比較プロジェクト会合」への参加, イタリア, H28. 7. 2~9
- 川瀬宏明
- ・ 東南アジアにおける統合地域ダウンスケーリング計画 (CORDEX 東南アジア) の国際ワークショップへの出席, ベトナム, H28. 11. 23~26
 - ・ 「地域気候に関する国際会議 2016 (ICRC-CORDEX2016)」への出席, スウェーデン, H28. 5. 16~22
 - ・ 全球エネルギー・水循環観測計画 (GEWEX) による雲解像気候モデリングワークショップ等への出席, アメリカ, H28. 9. 5~15
- 川畑拓矢
- ・ 全球航法衛星システム (GNSS) 気象学に関するセミナー等への参加, イタリア, H28. 10. 10~16
 - ・ ドイツ気象局、ホーエンハイム大学とのレーダーデータ同化研究打合せ及びデータ同化シンポジウムへの出席, ドイツ・イギリス, H28. 7. 12~24
- 北村祐二
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18
 - ・ 第22回境界層と乱流に関するシンポジウムへの出席, アメリカ, H28. 6. 19~26
- 楠 昌司
- ・ 「気候と海洋: 変動性、予測可能性と変化」(CLIVAR) の公開科学会合 (OSC) 等への出席, 中国, H28. 9. 18~24
 - ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第97回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22~28
- 工藤 玲
- ・ 国際放射シンポジウム (IRS2016) への参加, ニュージーランド, H28. 4. 15~23
 - ・ タイにおけるエアロゾル観測のためのライダーと分光放射計の保守, タイ, H28. 7. 6~13
 - ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守(中国), 中国, H29. 3. 5~13
- 國井 勝
- ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第97回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22~28
- 倉賀野連
- ・ 海面高度科学チーム会合及び SAR 高度計ワークショップへの参加, フランス, H28. 10. 29~11. 6
- 黒田友二
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18
 - ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H28. 4. 16~24
 - ・ 第16回ヨーロッパ気象学会 (EMS) 年次総会及び第11回ヨーロッパ応用気候学会 (ECAC) 合同会議への出席, イタリア, H28. 9. 10~18
- 小杉如央
- ・ 北太平洋海洋科学機関 (PICES) 2016 年年次総会への出席, アメリカ, H28. 11. 6~13
- 小寺祐貴
- ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議の第11回地震部会への出席及びカリフォルニア大学バークレー校での意見交換, アメリカ, H28. 11. 14~20
 - ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18

- 小林ちあき
- 成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響 (SPARC) 研究計画データ同化 (DA) ワークショップ及び再解析比較プロジェクト (S-RIP) ワークショップ出席, カナダ, H28. 10. 16~23
- 齊藤和雄
- 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り (TOMACS) の一環としてのサンパウロ大学での集中講義実施及び研究協力打合せ, ブラジル連邦共和国, H28. 10. 9~17
 - 第4回世界気象機関 (WMO) /世界天気研究計画 (WWRP) ナウキャスト短時間予報国際シンポジウム (WSN16) への参加, 中国, H28. 7. 24~30
 - 第2回海洋大陸における気候変動下の極端気象に関する国際ワークショップと東南アジア熱帯大気科学スクールへの参加, ベトナム, H28. 8. 22~27
 - 第一回アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAEREP) 国際ワークショップへの参加, アラブ首長国連邦, H29. 1. 16~21
 - アメリカ気象学会 (AMS) 第97回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22~28
 - シンガポールにおける高解像度数値予報実験等に関する意見交換及び第4回 InterMET Asia への参加, シンガポール共和国, H29. 3. 19~23
- 酒井 哲
- 温室効果ガス観測技術衛星 (GOSAT) データの高精度化に資するライダー装置の保守・調整, ニュージーランド, H28. 11. 13~20
 - アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18
 - 水蒸気ラマンライダーに関する観測実験, アメリカ, H28. 4. 3~25
 - 世界気象機関 (WMO) 測器観測法委員会 (CIMO) 新しいリモートセンシング技術に関する専門家チーム (ET-NRST) 第1回会合への参加, スイス, H28. 8. 20~27
 - 温室効果ガス観測技術衛星2号 (GOSAT-2) データの高精度化に資するライダー装置の試験観測, フィリピン, H29. 1. 22~28
- 佐々木秀孝
- 東南アジアにおける力学的ダウンスケール実験及び影響評価に関する研究打ち合わせ, タイ、マレーシア, H29. 2. 15~24
- 佐藤英一
- 第9回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 9) への参加, チリ, H28. 11. 18~28
- 澤 庸介
- 民間航空機を利用した大気化学組成観測に関する科学シンポジウムへの出席, イギリス, H28. 10. 16~21
 - 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H28. 5. 17~18
 - 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H29. 1. 17~18
 - 欧州地球科学連合 (E G U) 年次大会への出席, オーストリア, H29. 4. 16~24
- 沢田雅洋
- 台風研究会 2016 及び全球降水システム 2016 への出席, 日本, H28. 11. 24~29
 - 第71回アメリカハリケーン会合への出席, アメリカ, H29. 3. 13~15
- 嶋田宇大
- 国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) /世界気象機関 (WMO) 台風委員会第11回統合ワークショップ (IWS) 及び諮問作業部会 (AWG) への出席, フィリピン, H28. 10. 23~26
 - フィリピン気象地球物理天文庁との研究打合せ及び観測サイト現地視察, フィリピン, H28. 6. 13~19

- ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第 97 回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22~28
- ・ 第 71 回アメリカハリケーン会合出席及びアメリカ海洋大気庁 (NOAA) における台風予報研究開発に関する調査・意見交換, アメリカ, H29. 3. 12~19
- 小司禎教
 - ・ 全球航法衛星システム (GNSS) 気象学に関するセミナー等への参加, イタリア, H28. 10. 10~16
 - ・ 第 8 回マルチ GNSS アジア (MGA) カンファレンスへの参加, フィリピン共和国, H28. 11. 13~17
- 関山 剛
 - ・ ヨーロッパエアロゾル会議年次大会 (EAC2016) 参加、フランス放射線防護・原子力安全研究所 (IRSN) 研究会合出席等, フランス, H28. 8. 28~9. 11
- 高谷祐平
 - ・ 顕著天候と気候の季節内から季節予測の予測可能性に関するワークショップ、第 5 回季節内から季節予測 (S2S) プロジェクト運営グループ会合、及びアメリカ地球物理学連合大会への出席, アメリカ, H28. 12. 5~18
 - ・ WMO 基礎システム委員会 (CBS) / 気候委員会 (CC1) 現業長期予報専門家チーム会合への出席, 中国, H28. 4. 10~16
 - ・ WMO 第 6 回観測システムの数値予報へのインパクトワークショップへの出席, 中国, H28. 5. 9~13
- 高薮 出
 - ・ 東南アジアにおける統合地域ダウンスケーリング計画 (CORDEX 東南アジア) の国際ワークショップへの出席, ベトナム, H28. 11. 23~26
 - ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H28. 4. 17~24
- 竹内義明
 - ・ 2016 年アジア太平洋経済協力 (APEC) 台風シンポジウム (APTS) 及び APEC 台風と社会研究センター (ACTS) 第 4 回運営委員会への出席, 台湾, H28. 5. 23~27
- 田尻拓也
 - ・ 第 17 回国際雲・降水会議への参加, イギリス, H28. 7. 24~8. 1
 - ・ 第一回アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAEREP) 国際ワークショップへの参加及び UAEREP に係るシーディング有効雲観測のための地上リモセン機器設置, アラブ首長国連邦, H29. 1. 17~26
- 田中泰宙
 - ・ 世界気象機関 (WMO) 全球大気監視 (GAW) モデル応用科学諮問部会第 1 回会合出席及び土壌性エアロゾル 2016 年国際会議出席, イギリス・イタリア, H28. 6. 7~19
 - ・ エアロゾル予測のための国際協力 (ICAP) 第 8 回ワーキンググループ会合への出席, アメリカ, H28. 7. 11~16
 - ・ 世界気象機関 (WMO) 及びバイオマス燃焼に関する学際的イニシアチブ (IBBI) 共催国際ワークショップ「東南アジアにおける植生火災からの放出の予測と健康及び安全への影響」への参加, インドネシア, H28. 8. 28~9. 2
- 谷川朋範
 - ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11~18
- 津口裕茂
 - ・ 第 11 回メソ対流系と顕著気象に関する国際会議 (ICMCS-XI) への出席, 韓国, H28. 4. 24~29
- 辻野博之
 - ・ 「気候と海洋：変動性、予測可能性と変化」 (CLIVAR) の公開科学会合 (OSC) 等への出席, 中国, H28. 9. 16~23
- 対馬弘晃
 - ・ 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 「チリ・中南米防災人材育成拠点化支援プロジェクト」における夏季研究集会講師への派遣, チリ共和国, H28. 11. 20~27

- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11～18
- ・ ニュージーランド GNS サイエンスとの津波解析手法に関する打合せ, ニュージーランド, H29. 1. 16～22
- 坪井一寛
 - ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H28. 12. 6～7
 - ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H28. 8. 1～2
- 遠山勝也
 - ・ アメリカ海洋大気庁 (NOAA) 地球流体力学研究所 (GFDL) の海洋気候モデルのラグランジュ的解析ツール開発に関する在外研究, アメリカ, H28. 8. 21～9. 3
 - ・ 「気候と海洋: 変動性、予測可能性と変化」 (CLIVAR) の公開科学会合 (OSC) 等への出席, 中国, H28. 9. 18～23
- 直江寛明
 - ・ 成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響 (SPARC) 成層圏赤道準二年周期振動 (QB0) ワークショップへの出席, イギリス, H28. 9. 25～10. 1
- 仲江川敏之
 - ・ 南アジア地域における分野別利用を目指した気候指標の改良に関する WMO ワークショップへの出席, インド, H28. 10. 3～9
 - ・ 東南アジアにおける力学的ダウンスケール実験及び影響評価に関する研究打ち合わせ, タイ、マレーシア, H29. 2. 15～24
- 南雲信宏
 - ・ 第11回メソ対流系と顕著気象に関する国際会議 (ICMCS-XI) への出席, 韓国, H28. 4. 24～29
- 丹羽洋介
 - ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第97回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22～28
 - ・ CO2 観測衛星 2号 (OCO-2) サイエンスチーム会合への出席, アメリカ, H29. 3. 20～25
- 庭野匡思
 - ・ グリーンランド氷床表面質量収支に関するワークショップへの参加・発表, アメリカ, H28. 9. 6～10
- 橋本明弘
 - ・ 第17回国際雲・降水会議への参加, イギリス, H28. 7. 24～31
 - ・ 第一回アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAEREP) 国際ワークショップへの参加及び UAEREP に係るシーディング有効雲観測のための地上リモセン機器設置, アラブ首長国連邦, H29. 1. 17～26
- 林 修吾
 - ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第97回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 21～28
- 林 豊
 - ・ ニュージーランド GNS サイエンスとの津波解析手法に関する打合せ, ニュージーランド, H29. 1. 16～22
- 原田やよい
 - ・ 成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響 (SPARC) 研究計画データ同化 (DA) ワークショップ及び再解析比較プロジェクト (S-RIP) ワークショップ出席, カナダ, H28. 10. 16～23
- 広瀬成章
 - ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11～18
 - ・ 第10回沿岸高度計ワークショップへの参加, イタリア, H29. 2. 20～25
- 福井敬一
 - ・ 第9回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 9) への参加, チリ, H28. 11. 18～28
- 藤井陽介
 - ・ 結合データ同化国際ワークショップへの出席, フランス, H28. 10. 17～22

- ・ 韓国気象庁気象科学研究所との研究打ち合わせへの出席, 大韓民国, H28. 7. 13～16
- ・ 「気候と海洋: 変動性、予測可能性と変化」(CLIVAR)の公開科学会合(OSC)等への出席, 中国, H28. 9. 17～22
- 干場充之
 - ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議の第11回地震部会への出席及びカリフォルニア大学バークレー校での意見交換, アメリカ, H28. 11. 14～20
 - ・ アメリカ地球物理学連合(AGU)年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 12～16
 - ・ アメリカ地震学会2016年大会への出席およびアメリカ地質調査所での議論, アメリカ, H28. 4. 19～27
- 前田修平
 - ・ 「気候と海洋: 変動性、予測可能性と変化」(CLIVAR)の公開科学会合(OSC)等への出席, 中国, H28. 9. 18～24
- 眞木貴史
 - ・ 日中韓黄砂共同研究モンゴル観測所研究打合せへの参加, モンゴル, H28. 10. 2～5
 - ・ 第9回日中韓黄砂共同研究黄砂の早期警戒システムの構築作業部会会合への参加, 韓国, H28. 11. 29～12. 1
 - ・ アメリカ地球物理学連合(AGU)年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11～18
 - ・ 世界気象機関(WMO)砂塵嵐警戒評価システム(SDS-WAS)第5回アジアノード地区運営グループ(RSG)会合及び砂塵嵐国際ワークショップへの参加, 韓国, H28. 9. 20～23
- 益子 涉
 - ・ アメリカ気象学会(AMS)第97回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22～28
- 水田 亮
 - ・ 国連気候変動枠組条約第44回補助機関会合(SB44)出席, ドイツ, H28. 5. 18～21
 - ・ 成層圏の気候への影響に関する力学変動及び再解析相互比較ワークショップ出席, フィンランド, H28. 6. 5～11
- 村田昭彦
 - ・ アメリカ気象学会(AMS)第97回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 22～28
- 山口宗彦
 - ・ 熱帯低気圧強度科学ワークショップへの参加及びコロラド州立大学における台風強度予測に関する意見交換, アメリカ, H28. 10. 17～23
 - ・ 「世界天気研究計画(WWRP)予測可能性・力学過程及びアンサンブル予報に関する作業部会第2回会合」及び「社会・経済的に影響のある気象(HIWeather)プロジェクトキックオフ会合」への出席, イギリス, H28. 4. 24～5. 1
 - ・ 第71回アメリカハリケーン会合出席及びアメリカ海洋大気庁(NOAA)における台風予報研究開発に関する調査・意見交換, アメリカ, H29. 3. 12～19
- 山崎明宏
 - ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器設置(ハワイ島), アメリカ, H28. 10. 12～21
 - ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計等の保守(中国), 中国, H28. 8. 29～9. 4
 - ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守(中国), 中国, H29. 3. 5～21
- 山中吾郎
 - ・ アメリカ地球物理学連合(AGU)年次秋季大会への参加, アメリカ, H28. 12. 11～18

- ・ シームレスな結合予測のための高解像度海洋モデリングに関するワークショップへ及び欧州地球科学連合（EGU）年次大会への出席，イギリス・オーストリア，H28. 4. 11～24
 - ・ 韓国気象庁気象科学研究所との研究打ち合わせへの出席，大韓民国，H28. 7. 13～16
- 弓本桂也
- ・ エーロゾル予測のための国際協力（ICAP）第8回ワーキンググループ会合への出席，アメリカ，H28. 7. 11～16
 - ・ JSPS 研究拠点形成事業「アジアダストと環境レジームシフトに関する研究拠点の構築」第三回セミナーへの参加，モンゴル，H28. 8. 7～13
 - ・ 第二回東アジアにおける大気質シミュレーションに係る日中研究集会への参加，中国，H28. 9. 13～15
- 横田 祥
- ・ 第28回アメリカ気象学会シビアローカルストームに関する会議への出席，アメリカ，H28. 11. 6～13
- 吉田康平
- ・ アメリカ地球物理学連合（AGU）年次秋季大会への参加，アメリカ，H28. 12. 11～18
 - ・ 成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響（SPARC）成層圏赤道準二年周期振動（QB0）ワークショップへの出席，イギリス，H28. 9. 25～10. 2
- 吉田 智
- ・ アメリカ気象学会（AMS）第97回年次会合への参加，アメリカ，H29. 1. 21～27
- 和田章義
- ・ フィリピン気象地球物理天文庁との研究打合せ及び観測サイト現地視察，フィリピン，H28. 6. 13～19
 - ・ アメリカ気象学会（AMS）第97回年次会合への参加，アメリカ，H29. 1. 22～28

8.2. 受入研究員等

客員研究員

当所の研究の効率的な推進に資することを目的とし、当該研究に関する高度の専門知識を有し、当該研究を円滑に実施する能力がある研究者を客員研究員として受け入れている。平成28年度は次の44名を受け入れた（外国人特別研究員制度による受入を除く）。

宇野史睦

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

大竹秀明

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

伊藤耕介

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

大泉 伝

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

福井 真

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」、
「防災・減災に資する気象・気候・環境予測」

受入研究部：予報研究部

Le Duc

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

村上正隆

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

野田 彰

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

内山明博

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「放射収支の監視システムの高度化と気候変動要因解明に関する研究」、地球環境保全等試験研究費「分光日射観測とデータ同化によるエアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に関する研究」

受入研究部：気候研究部

野口峻祐

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「季節予報の高度化と異常気象の要因解明に関する研究」

受入研究部：気候研究部

荒川 理

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究（筑波大学）「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：気候研究部

鬼頭昭雄

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究（筑波大学）「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：気候研究部

小山博司

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、創生プログラム(文科省)テーマA「直面する地球環境変動の予測と診断」

受入研究部：気候研究部

杉 正人

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究（筑波大学）「気候変動リスク情報の基盤技術開発」、HPCI 戦略プログラム(文科省)ポスト「京」「観測ビックデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化」、地球シミュレータ特別推進課題「複数の次世代非静力学全球モデルを用いた高解像度台風予測実験」

受入研究部：気候研究部

村上裕之

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、創生プログラム(文科省)テーマC「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：気候研究部

相澤拓郎

期 間：H29. 1. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

岡田靖子

期 間：H28. 9. 15～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、気候変動適応技術社会実装プログラム「近未来予測課題」

受入研究部：気候研究部

尾形友道

期 間：H29. 1. 23～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、創生プログラム(文科省)テーマC「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：気候研究部

青木輝夫

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「雪氷物理過程の観測とモデル化による雪氷圏変動メカニズムの解明」

受入研究部：気候研究部

島田利元

期 間：H28. 11. 24～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「雪氷物理過程の観測とモデル化による雪氷圏変動メカニズムの解明」、宇宙航空研究開発機構地球環境変動観測ミッション「GCOM-C/SGLI による雪氷アルゴリズムの高度化・新規開発、及び地上観測と数値モデルによる検証・校正に関する研究」

受入研究部：気候研究部

金田幸恵

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、科学研究費助成事業「台風強度予測精度向上のための台風強化停止プロセスの解明」

受入研究部：台風研究部

柴田清孝

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

板橋秀一

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、環境研究総合推進費 S-12「SLCP の環境影響評価と削減パスの探索による気候変動対策の推進」

受入研究部：環境・応用気象研究部

藤部文昭

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「環境要因による局地気候変動のモデル化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

伊東瑠衣

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

栗原和夫

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

日比野研志

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

佐藤陽祐

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

猪俣弥生

期 間：H28. 11. 8～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、環境総合推進費「PM2.5 の成分組成、酸化能、呼吸器疾患ハザードとそのモデル予測に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

西澤誠也

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

萩野谷成徳

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

真野裕三

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

石原正仁

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

小林隆久

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

田畑 明

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

内野 修

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、科学研究費助成事業「局地的大雨予測のための可搬性に優れた次世代型水蒸気ライダーの開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

新井健一郎

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（JR東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

石津尚喜

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）
「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測
手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

小野村史穂

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）
「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測
手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

藤原忠誠

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）
「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測
手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

吉川澄夫

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

平田賢治

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「南海トラフ沿いのプレート間固着状態監視と津波地震の発生状況即時
把握に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

石崎 廣

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「海洋モデルの高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

齊藤 尚子

期 間：H28. 9. 5～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

支援研究員

当該研究に関する高度な専門知識を有し、当所研究の効率的な推進に資することを目的とし、人材派遣会社との契約により気象研究所に派遣される研究支援者のうち、所長の承認を受けた者を「気象研究所支援研究員」としている。平成 28 年度は次の 5 名を支援研究員とした。

郭 子仙

期 間：H28. 5. 2～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

相澤拓郎

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

神代 剛

期 間：H28. 4. 1～H29. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

上原 清

期 間：H28. 4. 18～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

八木俊政

期 間：H28. 4. 18～H29. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

8. 3. 海外研究機関等からの来訪者等

招聘研究者

Ms. Cruz Faye Abigail (フィリピン マニラ大学)

期 間：平成 27 年 8 月 16 日～平成 28 年 11 月 15 日

用 務：地域気候モデルを用いた東南アジア域における将来気候予測実験に関する共同研究を実施する。

担当研究者：佐々木秀孝（環境・応用気象研究部）

Ms. Rivka Amit (イスラエル イスラエル地質調査所)

Mr. Amos Salamon (イスラエル イスラエル地質調査所)

Mr. Gavrieli Samuel David Ittai (イスラエル イスラエル地質調査所)

Mr. Gidon Baer (イスラエル イスラエル地質調査所)

Mr. Ittai Kurzon (イスラエル イスラエル地質調査所)

Mr. Yoram Biton (イスラエル イスラエル地質調査所)

期 間：平成 28 年 5 月 30 日～平成 28 年 6 月 6 日

用 務：日本の緊急地震速報とイスラエルのそれにあたるシステムの運用・開発・将来の展望についての議論・情報交換を行う。

担当研究者：干場充之（地震津波研究部）

Mr. Reinhardt Erwin Pinzon Adames (パナマ パナマ工科大学水理水工学研究センター)

期 間：平成 28 年 6 月 4 日～平成 28 年 6 月 10 日

用 務：地域気候モデルを用いたパナマ周辺における将来気候予測実験に関する共同研究を実施する。

担当研究者：仲江川敏之（気候研究部）

Mr. Hanittinan Patinya (タイ 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻)

期 間：平成 28 年 8 月 1 日～平成 28 年 8 月 10 日

用 務：高解像度多数シミュレーションによる極端現象の確率的気候変動情報を用いた解析を行う。

担当研究者：仲江川敏之（気候研究部）

Ms. Patama Singhruck (タイ チュラロンカン大学)

期 間：平成 28 年 8 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日

用 務：文部科学省創生プログラムテーマ C「気候変動リスク情報の基盤技術開発」に関して、モデルの開発等を行う。

担当研究者：佐々木秀孝（環境・応用気象研究部）

Ms. Rochelle Cayanan Coronel (フィリピン マニラ観測所)

期 間：平成 28 年 8 月 8 日～平成 28 年 9 月 30 日

用 務：国土交通省の平成 28 年度開発途上国研究機関交流事業「地域気候モデルを用いたベトナム周辺の地球温暖化による気候変化予測」による共同研究を実施する。

担当研究者：佐々木秀孝（環境・応用気象研究部）

Mr. Viktor Gouretski (ドイツ ハンブルク大学)

Mr. Hans Thomas Rossby (アメリカ ロードアイランド大学)

Mr. Vissa Venkata Gopalakrishna (インド インド国家海洋研究所)

Mr. Tata Venkata Sai Udaya Bhaskar (インド インド国家海洋情報サービスセンター)

Mr. Cheng Lijing (中国 中国科学院大気物理科学研究所)

Mr. Liu Yulong (中国 中国国家海洋データ情報サービス)

Mr. Marlos Pereira de Araujo Goes (ブラジル マイアミ海洋・大気共同研究所及びアメリカ海

洋大気庁大西洋海洋気象研究所)

期 間：平成 28 年 10 月 3 日～平成 28 年 10 月 7 日

用 務：第 4 回国際高精度海洋観測データベース (IQuOD) 会合及び第 5 回海洋観測装置 XBT 科学ワークショップへ出席する。

担当研究者：石井正好 (気候研究部)

Ms. Marcelino Q Villafuerte II (フィリピン フィリピン気象局)

期 間：平成 28 年 10 月 3 日～平成 28 年 12 月 2 日

用 務：国土交通省の平成 28 年度開発途上国研究機関交流事業「地域気候モデルを用いたベトナム周辺の地球温暖化による気候変化予測」による共同研究を実施する。

担当研究者：佐々木秀孝 (環境・応用気象研究部)

Ms. Eun Young Kwon (韓国 ソウル国立大学海洋研究所)

期 間：平成 28 年 11 月 24 日～平成 28 年 11 月 29 日

用 務：海洋物質循環に関する研究についての意見交換を実施する。

担当研究者：石井雅男 (海洋・地球化学研究部)

Ms. Sujittra Ratjiranukool (タイ チェンマイ大学)

期 間：平成 28 年 12 月 11 日～平成 29 年 2 月 17 日

用 務：文部科学省 創生プログラムテーマ C「気候変動リスク情報の基盤技術開発」に関して、モデルの開発等を行う。

担当研究者：佐々木秀孝 (環境・応用気象研究部)

JICA 研修受け入れ

平成 28 年度 課題別研修「気象業務能力向上」コース

Ms. DUARTE MOL Juliana Maria (ブラジル)

Ms. REZAEIAN Mahtab (イラン)

Mr. MUTEREDA Dorival Alvaro (モザンビーク)

Ms. Sandar Wai (ミャンマー)

Mr. AFZAL Muhammad (パキスタン)

Mr. WILSON Vaaua (サモア)

Mr. TAHAAFE Siale Uvea (トンガ)

Mr. NGUYEN Van Huong (ベトナム)

期間：平成 28 年 11 月 7 日、11 月 10～11 日

対応研究者：尾瀬智明、山崎明宏 (気候研究部)、高野功、岡本幸三、小山亮、入口武史、嶋田宇大 (台風研究部)、高薮出、毛利英明、五十嵐康人、足立光司 (環境・応用気象研究部) 鈴木修、猪上華子、吉田智、楠研一、足立アホロ、南雲信宏、永井智広、足立透 (気象衛星・観測システム研究部)

9. 委員・専門家等

ここでは、平成 28 年度に気象研究所の職員が外部機関から委嘱を受けた委員・専門家等（平成 28 年度以前から継続しているものも含む）について、個人別に五十音順で掲載している。

9. 1. 国際機関の委員・専門家

- | | |
|-------|---|
| 青梨和正 | ・ WMO 気象衛星のための調整グループ (CGMS) * 国際降水ワーキンググループ (IPWG) 共同議長 |
| 足立アホロ | ・ 対流圏プロファイルに関する国際会議(ISTP)プログラム委員 |
| 石井雅男 | ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC) 国際海洋炭素連携プロジェクト (IOCCP) 科学運営グループ委員
・ 北太平洋海洋科学機関 (PICES) 気候-炭素部会委員
・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) 現場観測支援センター (OPS) * 全球船舶海洋観測研究プログラム (GO-SHIP) 推進委員
・ 国際科学会議 (ICSU) 海洋生物地球化学・生態系研究科学推進委員会 (IMBER-SSC) メンバー |
| 碓氷典久 | ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクトデータ同化タスクチーム (DA-TT) メンバー |
| 尾瀬智昭 | ・ WMO 気候委員会 (CCI) * 委員
・ WMO 気候サービスに関する政府間委員会 (IBCS) * メンバー |
| 折笠成宏 | ・ 国際気象学・大気科学協会 (IAMAS) 国際雲・降水委員会委員 |
| 梶野瑞王 | ・ 日中韓大気汚染物質長距離越境移動研究プロジェクト (LTP)・サブワーキンググループ (SWG) 委員 |
| 倉賀野連 | ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営チーム (GOVST) 委員 |
| 齊藤和雄 | ・ 世界天気研究計画 (WWRP) * メソスケール天気予報研究作業部会 (WG-MWFR) 委員
・ WMO 福島第一原発事故に関する気象解析技術タスクチーム*委員
・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) * 研究開発プロジェクト (RDP) * 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り(TOMACS) * 国際科学運営委員会 (ISSC) * |
| 酒井 哲 | ・ WMO 測器観測法委員会 (CIMO) * リモートセンシング技術に関する作業部会新しいリモートセンシング技術に関する専門家チームメンバー |
| 小司禎教 | ・ 全球気候観測システム基準高層観測網(GRUAN) タスクチーム 2 (全球航法衛星システムによる可降水量) 委員
・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側幹事会委員
・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) * 研究開発プロジェクト (RDP) * 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り(TOMACS) * 国際科学運営委員会 (ISSC) *
・ 国際測地学協会研究会 4.3.7 (IAG SG4.3.7 「リアルタイム GNSS プロダクト」) メンバー
・ 国際測地学協会合同作業グループ 4.3.8 (IAG JWG4.3.8 「気候のための GNSS 大気プロダクト」) メンバー |

- 高野 功
- ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会作業部会 D 委員
- 高菽 出
- ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会作業部会 D 委員
- 竹内義明
- ・ 台風と社会に関する APEC 研究センター 運営委員
- 辻野博之
- ・ 世界気候計画(WCRP)* 気候と海洋の変動、予測可能性、変化(CLIVAR) 海洋開発パネル(OMDP) 職権上委員(ex-officio)
 - ・ 北太平洋海洋科学機関（PICES）領域気候モデリング部会(WG-29)委員
- 対馬弘晃
- ・ 国際津波委員会 委員及びワーキングメンバー
- 仲江川敏之
- ・ WMO 気候委員会（CCI）* 気候リスクとセクター別気候指標に関する専門家チーム共同リーダー
 - ・ 国際気象学・大気科学協会（IAMAS） 気候に関する国際委員会委員（ICCL）
 - ・ 台風委員会作業部会 気象作業部会 気候変動影響専門家チームメンバー
- 高谷祐平
- ・ WMO 基礎システム委員会(CBS)/気候委員会（CCI）* 合同現業季節予報専門家チーム(IPET-OPSL)委員
 - ・ 世界天気研究計画/世界気候研究計画（WWRP/WCRP）* 季節内から季節予測プロジェクト(S2S)運営グループメンバー
 - ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）* 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営チーム（GOVST）結合予測タスクチーム（CP-TT）メンバー
- 藤井陽介
- ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）* 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト観測システム評価タスクチーム（OSEval-TT）メンバー
 - ・ 全球海洋観測システム（GOOS）* 2020 年以降の熱帯太平洋観測システムに関する検討グループ（TPOS2020）モデル・データ同化タスクチーム（TPOS2020/M&DA-TT）メンバー
 - ・ CLIVAR/全球観測と統合化に関するパネル（GSOP）科学運営委員
- 前田憲二
- ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）耐風・耐震構造専門部会日本側委員
- 眞木貴史
- ・ 日中韓三カ国環境大臣会合 砂塵嵐ワーキンググループ 専門委員
- 山口宗彦
- ・ WMO 大気科学委員会（CAS）* WWRP 科学運営委員会（SSC）* 予測可能性・力学過程及びアンサンブル予報に関する作業部会(PDEF)*
- 和田章義
- ・ WMO 台風委員会（UNESCSP）Tropical Cyclone Research and Review Associate Editor
 - ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）* 大気海洋結合モデルによる短期及び中期予報準備チーム（SMRCP-TT）メンバー

* 世界気象機関（WMO）に属する委員会等

9. 2. 国内機関の委員・専門家等

- 青梨和正
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション (GCOM) AMSR 後継機サイエンスチーム委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 降水観測ミッション (PMM) 利用検討委員会委員
 - ・ 東海大学情報技術センター EarthCARE/CPR 委員会委員
 - ・ (一社) 日本航空宇宙工業会 電波センサ間校正標準化委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
- 足立アホロ
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象研究ノート編集委員会委員
 - ・ 京都大学防災研究所 非常勤講師
- 荒木健太郎
- ・ (公社) 日本雪氷学会 電子情報委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象研究ノート編集委員会委員
- 安藤 忍
- ・ 日本測地学会 第43期編集委員会委員
- 五十嵐康人
- ・ 日本学術会議 総合工学委員会・原子力事故対応分科会 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会委員
 - ・ 茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会委員
 - ・ (公財) 日本分析センター 環境放射線等モニタリングデータ評価検討会委員
 - ・ (公財) 日本分析センター 大気環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討委員会
 - ・ (株) エックス都市研究所 森林から生活圏への放射性物質の流出・拡散に関する検討会委員
 - ・ 日本エアロゾル学会 理事 (事業企画委員)
 - ・ 岡山県 岡山県環境放射線等測定技術委員会委員
 - ・ 東京理科大学総合研究機構山岳大気研究部門 客員教授
 - ・ 早稲田大学理工学術院創造理工学研究科 非常勤講師
 - ・ 筑波大学大学院生命環境科学研究所 非常勤講師
- 石井雅男
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 IMBER 小委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 IOC 協力推進委員会 海洋観測・気候変動 国内専門部会委員
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 温室効果ガス観測データ標準化WG委員
 - ・ 筑波大学生命環境学群 非常勤講師
- 石井正好
- ・ 文部科学省 「気候変動リスク情報創生プログラム」「直面する地球環境変動の予測と診断」運営委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 スーパーコンピュータ研究利用専門委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第39期 SOLA 編集委員会委員
 - ・ 筑波大学生命環境系 准教授 (連携大学院)
- 石元裕史
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
- 泉 敏治
- ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員
- 伊藤純至
- ・ (一社) 日本流体力学会 日本流体力学会誌「ながれ」編集委員
 - ・ (一社) 日本流体力学会 第25期代議員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第39期講演企画委員会委員

- 今田由紀子 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
- 碓氷典久 ・ (公社) 日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
- 浦川昇吾 ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 海面高度計ミッションにおける委員会委員
- 遠藤洋和 ・ 日本海洋学会 選挙管理委員
- 大島 長 ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象研究ノート編集委員会委員
- 太田芳文 ・ (公社) 日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
- 大塚道子 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題C業務協力者
- 岡本幸三 ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星2号サイエンスチーム
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
- ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- ・ 日本学術会議 地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会 地球観測の将来構想に関する検討小委員会委員
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 降水観測ミッション (PMM) 利用検討委員会委員
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション (GCOM) AMSR後継機サイエンスチーム委員会委員
- ・ 東海大学情報技術センター EarthCARE/CPR 委員会委員
- ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
- ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- ・ 国立研究開発法人情報通信研究機構 共同研究員
- 沖田克美 ・ 筑波研究学園都市交流協議会 環境・施設専門委員会委員
- 尾瀬智昭 ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 MAHASRI・GEWEX 小委員会 委員
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 降水観測ミッション (PMM) 利用検討委員会委員
- 小田真祐子 ・ (公社) 日本気象学会 第39期教育と普及委員会委員
- 小畑 淳 ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象集誌編集委員会委員
- 小山 亮 ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 降水観測ミッション (PMM) 利用検討委員会委員
- 折口征二 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
- 梶野瑞王 ・ (公社) 大気環境学会 編集委員会委員
- ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
- ・ (一財) 日本気象協会事業本部 光化学オキシダントシミュレーションによる解析作業部会委員
- ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- ・ 筑波大学 生命環境系准教授 (連携大学院)
- 勝間田明男 ・ 国立研究開発法人建築研究所 研究評価委員会構造分科会委員
- ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会強震動評価部会地下構造モデル検討分科会委員
- 加藤輝之 ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 大型降雨実験施設運用委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期編集委員会委員
- ・ 筑波大学 生命環境系教授 (連携大学院)

- 釜堀弘隆 ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 MAHASRI・GEWEX 小委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第39期 SOLA 編集委員会委員
- 川合秀明 ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象集誌編集委員会委員
- 川上弘海 ・ 筑波研究学園都市交流協議会 環境・施設専門委員会委員
- 川瀬宏明 ・ 科学技術・学術政策研究所 科学技術専門化ネットワーク・専門調査員
 ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象集誌編集委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第39期教育と普及委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第39期電子情報委員会委員
- 川畑拓矢 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
 ・ 神戸大学 非常勤講師
- 楠 研一 ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象災害委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
- 工藤 玲 ・ (公社) 日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
- 國井 勝 ・ (公社) 日本気象学会 第38期講演企画委員会委員
 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
 ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- 倉賀野連 ・ 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会調査委員
 ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 海面高度計ミッションにおける委員会委員
 ・ 日本海洋学会 評議員
 ・ (一財) リモート・センシング技術センター 水産・沿岸環境委員会委員
- 黒田友二 ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 SPARC 小委員会委員
- 小泉 耕 ・ 名古屋大学宇宙地球環境研究所 IHP 分科会トレーニング・コース WG 委員会委員
- 小林ちあき ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 SPARC 小委員会委員
- 財前祐二 ・ 日本エアロゾル学会 「エアロゾル研究」編集委員
 ・ 東京理科大学総合研究機構 客員教授
 ・ 福岡大学産学官連携研究機関福岡から診る大気環境研究所 研究員
- 齊藤和雄 ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会 (TOMACS 特別号) 委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第39期学術委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第39期正野賞候補者推薦委員会委員
 ・ 国立研究開発法人情報通信研究機構 次世代安心・安全 ICT フォーラム運営委員
 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 招聘上席研究員
- 酒井 哲 ・ レーザレーダ研究会 活性化委員
 ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員
- 佐藤英一 ・ (一社) 日本風工学会 風災害研究会委員
 ・ (一社) 日本風工学会 代表委員会委員
- 澤 庸介 ・ 日本大気化学会 運営委員会委員
 ・ (公財) JAL 財団 第3期航空機による地球環境観測推進委員会委員
 ・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所 客員研究員
- 嶋田宇大 ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 降水観測ミッション (PMM) 利用検討委員会委員

- 小司禎教
- ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会 (TOMACS 特別号) 委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期気象災害委員会委員
 - ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 環境・災害対応委員会委員
 - ・ 地球電磁気・地球惑星圏学会 Earth, Planets and Space (EPS) 特集号編集委員
- 鈴木 修
- ・ (一社) 日本風工学会 運営・学術委員会委員
 - ・ (一財) 河川情報センター レーダー活用による河川情報高度化検討委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 「攻め」の防災に向けた気象在外の能動的軽減を実現するイノベーションハブ運営委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期評議員
- 清野直子
- ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 男女共同参画委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会 (TOMACS 特別号) 委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期人材育成・男女共同参画委員会委員
 - ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 ダイバーシティ推進委員会委員
- 関山 剛
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 SPARC 小委員会委員
 - ・ 茨城県東海地区環境放射線監視委員会評価部会専門員
 - ・ 茨城県生活環境部防災・危機管理局原子力安全対策課 茨城県緊急時モニタリング計画等検討委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期天気編集委員会委員
 - ・ 国立大学法人鳥取大学乾燥地研究センター気候・水資源部門 客員教授
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題C業務協力者
 - ・ 茨城大学 理学部・大学院理工学研究科 非常勤講師
- 瀬古 弘
- ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会 (TOMACS 特別号) 委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 招聘上席研究員
 - ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員主管研究員
 - ・ 神戸大学 非常勤講師
- 高野清治
- 高薮 出
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期岸保・立平賞候補者推薦委員会委員
 - ・ (一財) リモート・センシング技術センター IPCC WG1 国内幹事会委員
 - ・ 文部科学省 今後の気候変動研究の在り方に関する検討会委員
 - ・ 文部科学省 「気候変動リスク情報創生プログラム」「直面する地球環境変動の予測と診断」運営委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 「気候変動リスク情報創生プログラム安定化目標値設定に資する気候変動(領域テーマB)」運営委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期理事
 - ・ 環境省地球環境局 中央環境審議会委員
- 竹内義明
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球観測研究センター (EORC) アドバイザリー委員会委員
- 谷川朋範
- ・ (公社) 日本雪氷学会 学術委員会委員
 - ・ (公社) 日本雪氷学会 「雪氷」編集委員会委員
- 田中康宙
- ・ 筑波大学計算科学研究センター 共同研究委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題C業務協力者
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期電子情報委員会委員
- 溜淵功史
- ・ (公社) 日本地震学会 広報委員会委員

- 津口裕茂 ・ (公社) 日本気象学会 第39期教育と普及委員会委員
- 辻野博之 ・ (公社) 日本気象学会 第39期 SOLA 編集委員会委員
- 坪井一寛 ・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所 客員研究員
- 永井智広 ・ (公社) 計測自動制御学会 計測部門リモートセンシング部会運営委員
- ・ レーザレーダ研究会 運営委員会委員
- ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員
- 仲江川敏之 ・ (一財) リモート・センシング技術センター IPCC WG1 国内幹事会委員
- ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 ジャーナル企画経営委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期理事
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期企画調整委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期講演企画委員会委員長
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期 SOLA 編集委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期教育と普及委員会副委員長
- ・ (一社) 水文・水資源学会 理事
- ・ (一社) 水文・水資源学会 国際誌編集委員会委員長
- ・ (一社) 水文・水資源学会 国際誌編集委員アドバイザー
- ・ (一社) 水文・水資源学会 編集出版委員会委員総務委員会委員
- ・ 東京大学生産技術研究所 研究員
- ・ 国土交通省 水資源分野における気候変動への適応策のあり方検討会委員
- 南雲信宏 ・ (公社) 日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期電子情報委員会委員
- 丹羽洋介 ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星2号サイエンスチーム委員
- ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題C業務協力者
- 庭野匡忠 ・ (公社) 日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
- 橋本明弘 ・ (公社) 日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期電子情報委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期人材育成・男女共同参画委員会委員
- ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
- 林 修吾 ・ (公社) 日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第39期気象災害委員会委員
- ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
- 林 豊 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会津波評価部会委員
- ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会活断層評価手法等検討分科会委員
- ・ 歴史地震研究会 幹事
- 原田やよい ・ (公社) 日本気象学会 第39期地球環境問題委員会委員
- 弘瀬冬樹 ・ (公社) 日本地震学会 広報委員会委員
- 干場充之 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会強震動評価部会強震動予測手法検討分科会委員
- ・ 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員会委員
- ・ (公社) 日本地震学会 通常代議員
- ・ (公社) 日本地震学会 強震動委員会幹事

- ・ (公社) 日本地震学会 学生優秀発表賞選考委員会委員
- ・ (公社) 日本地震学会 若手学術奨励賞選考委員会委員
- ・ 国立研究開発法人建築研究所 国際地震工学研究カリキュラム部会委員
- 前田憲二
 - ・ 国土地理院 地震予知連絡会第24期委員
 - ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 日本海溝海底地震津波観測網の整備に関する運営委員会委員
 - ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会委員
 - ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会高感度地震観測データの処理方法の改善に関する小委員会委員
 - ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会地震活動の予測的な評価手法検討小委員会委員
- 前田修平
 - ・ 文部科学省 「気候変動リスク情報創生プログラム」「直面する地球環境変動の予測と診断」運営委員会委員
- 眞木貴史
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題C業務協力者
 - ・ 研究開発法人宇宙航空研究開発機構 GCOM-W/AMSR2後継センサGOSAT-3搭載検討委員会委員
 - ・ (一財)地球・人間環境フォーラム GOSATに関する専門家会合メンバー
- 益子 渉
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
 - ・ (公社)日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
- 松枝秀和
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 地球温暖化観測・情報利用活用推進委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 温室効果ガス観測データ標準化WG委員
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター運営委員会委員
- 水田 亮
 - ・ (公社)日本気象学会 第39期気象集誌編集委員会委員
 - ・ (公社)日本気象学会 第39期地球環境問題委員会委員
- 水野孝則
 - ・ 筑波研究学園都市交流協議会 国際化推進専門委員会委員
- 水野吉規
 - ・ (一社)日本流体力学会 「ながれ」編集委員
 - ・ (一社)日本物理学会 領域運営委員
- 毛利英明
 - ・ 防衛省技術研究本部 外部評価委員会委員
 - ・ 防衛装備庁 外部評価委員会委員
 - ・ 神戸大学 非常勤講師
- 山口宗彦
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 降水観測ミッション(PMM)利用検討委員会委員
 - ・ (公社)日本気象学会 第39期学術委員会委員
 - ・ 琉球大学 非常勤講師
- 山崎明宏
 - ・ 福岡大学産学官連携研究機関福岡から診る大気環境研究所 研究員
- 山里 平
 - ・ 特定非営利活動法人日本火山学会 理事
 - ・ 特定非営利活動法人日本火山学会 副会長
 - ・ 特定非営利活動法人日本火山学会 将来計画委員会委員
 - ・ 特定非営利活動法人日本火山学会 火山防災委員会委員
 - ・ 神奈川県温泉地学研究所地震・火山観測に関する外部有識者会議委員
 - ・ (公社)日本地球惑星科学連合 環境災害対応委員会委員
 - ・ (公社)土木学会 調査研究部門地盤工学委員会火山工学小委員会委員
 - ・ 火山噴火予知連絡会 委員

- ・ 火山噴火予知連絡会 伊豆部会委員
- ・ 火山噴火予知連絡会 火山活動評価検討会委員
- ・ 火山噴火予知連絡会 火山観測体制等に関する検討会委員
- ・ 火山噴火予知連絡会 御嶽山総合観測班幹事
- ・ 火山噴火予知連絡会 口永良部島総合観測班幹事
- 山中吾郎
 - ・ 日本海洋学会 評議員
 - ・ 日本海洋学会 幹事
 - ・ 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員会委員
- 山本 哲
 - ・ 特定非営利活動法人気象システム技術協会 「気象測器研究会」研究テーマ「転倒ます型雨量計の比較観測実験」専門家
- 山本剛靖
 - ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 課題①津波予測技術運営委員会委員
- 弓本桂也
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題C業務協力者
- 横田 祥
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 ポスト「京」重点課題④サブ課題A業務協力者
 - ・ (公社)日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
- 吉田 智
 - ・ 日本大気電気学会 運営委員

気象研究所年報（平成28年度）

編集・発行 気象庁 気象研究所
〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
電話：(029)853-8535
URL：<http://www.mri-jma.go.jp>

印 刷 朝日印刷株式会社つくば支社

